

地域かわら版

地域がつながるフリーペーパー

通算
第23号



平成29年度第2回地域懇談会の1コマ。
地域のみなさんが「居場所」について考えてみました。



「場所」×「人」×「人」×「時間」×「お金」= どんな居場所？
頭をやわらかくするゲームをやってみました。

■地域かわら版 第23号 平成30年4月 発行
■発行・編集 日野市企画部 地域協働課
■〒191-0011 日野市日野本町1-6-2
■電話 042-581-4112

■FAX 042-581-4221
■Eメール ckyodo@city.hino.lg.jp

「居場所」は暮らしにゆとり、未来に可能性を！

平成 29 年度 第 2 回地域懇談会を開催

今回のテーマは「居場所」。

あなたは「居場所」を持っていますか？

居場所ってなぜ必要なのでしょう？

家、職場以外で人と会話を楽しむ場所、ほっとできる場所は、心にゆとりを与えてくれます。会話することは、「何か」が生まれる可能性を秘めています。仲間と話をすることで、悩んでいたことが解決するかもしれません。そんな「居場所」が地域に増えたら・・・

居場所の可能性は無限大ではないでしょうか。



平成 29 年度第 2 回地域懇談会では、「場所」、「人」、「時間」、「お金」カードを引いて、「自分たちの居場所」を考えてみました。

居場所と言うと、「高齢者サロン」、「子ども食堂」・・・と思いがちですが、このゲームでは居場所の形にこだわらなくて、楽しみながら考えることができました。

日程	地区名	人数	会場
12/10	平山中地区	34 人	平山交流センター
	二中地区	36 人	カワセミハウス
1/13	大坂上中地区	47 人	新町交流センター
	三沢中地区	42 人	三沢中学校
1/21	四中地区	37 人	日野第四中学校
	三中地区	45 人	明星大学
1/28	七生中地区	45 人	七生中学校
	一中地区	27 人	日野第一中学校

参加者からは、「居場所」があると、「様々な価値観の方と出会うことができる」という意見や、「地域の方々と共に生きているということが実感できる」、「多くの方と知り合うことで考え方が広がる」といった意見が出されました。

今後の地域懇談会では、引き続き皆さんと「居場所」について考えていきます。

アクションプラン継続中!!

地域の課題を、地域に住む皆さんの力で解決する「アクションプラン」は、各中学校区ごとに、平成 28 年度から実施し、**今年度も継続中**です。

四中地区では、平成 30 年 7 月 23 日（月）から「ラジオ体操で四中地区がつながる!!」を、七生中地区は平成 30 年 9 月 15 日（土）に「ななお BON まつり」を、開催予定です。その他の地区も地域のみなさんががんばっています。地域の動きに興味がある方、いっしょに活動したい方がいらっしゃいましたら、ぜひ地域協働課までご連絡ください。

日野市民講座

市民によるコミュニティ再生を考える！ ～人と人のご縁を育む“場”づくり～

日時 平成29年12月16日（土）
開演 午後2時00分～午後4時00分
会場 明星大学26号館102教室

が開催されました！

超高齢・人口減少社会が始まる中で生まれている、高齢者の孤立・子どもの貧困・地域の防犯・防災等の新しい地域課題。これらに対して「まちの縁側＝居場所」づくりでゆるやかなつながりを作り、地域の活性化を図るまちがあります。その指導をしている延藤先生による“幻燈会”は、絵本を語りきかせることで「地域に生きる」ということが伝わるユニークな講座です。会場に明星大学キャンパスを使用させていただき、地元の市民有志による地域活動、二水会とその活動を応援する学生ボランティアの活動の紹介も併せて行われました。

第1部 事例報告 二水会・明星大学学生ボランティアの皆さん

三中地区の有志の方々が楽しく集まる場、二水会こそ、日野市の“縁側”です。その活動を今城さん、そして今年、88歳になる金子さんに紹介してもらいました。そして、自分たちの“一芸”により地域を楽しませる学生の方々も地域活動に参加する楽しさ、熱い想いを語ってくれました。



アンケートより

「この地域は山の上であり、高齢者の行動には限界があります。この中であって、学生さんとの交流が一番の薬です。」

「二水会とのつながりの中で、学生自身が明るく輝いている。それぞれが目標をもって活動している皆が生き生きしている感じがとても良い。」

第2部 「人と人のご縁を育む“場”づくり」 講師 延藤 安弘先生

延藤先生が“幻燈会”で語ってくれたのは「三匹のオオカミ」、「わたしたちのてんごくバス」。それらの物語の中で、逆境をエネルギーに変え、つながることで地域を元気にする知恵が語られます。

その言葉から「地域に生きる」という意味が素直に伝わってきました。会場には多数の方がお越しになり、延藤先生の軽妙なトークに聞き入りました。



アンケートより

坂が多い街の人間として「坂がみんなを優しくする」という言葉は印象的でした。柔らかな発想、見習いたいです。

印象に残ったワード。「トラブルはエネルギーに変えられる」、「最大の敵はあきらめること」。この言葉を何度も心で復習し、自身も地域と向き合っています。

まち全体が繋がって、地域の人にとって居心地良いと感じるまちづくりが大切なのだと思いました。あきらめずに、市民と行政が一緒になってまちを創っていきこうとしていくことが何より必要なのだと感じました。

今回は、甲州街道駅の東側にある自治会「万願荘自治会」をご紹介します。
万願荘自治会は、防災防犯会の活動を積極的に行っています。

日頃の活動を通して、様々なシーンで会話が生まれ、顔の見える関係が育まれています。

■通学児童の見守りで「話す」

1日の活動は朝の「通学児童の見守り」から始まります。地域内の通学路に毎日10数人のメンバーが立ち、通学時の交通災害防止と児童との挨拶運動を展開しています。防災防犯会発足時から見守りを始め今年で9年目を迎えており、学校やPTAから感謝の言葉をいただいています。最高齢84歳の見守りのメンバーを先頭に、今日も元気に活動を展開しています。



楽しく元気に挨拶している
声が聞こえてきそうですね!!



■女性部会（通称：女子会）の活動で「話す」

万願荘自治会は約220世帯で構成され、70歳以上は約180人。高齢者が多い地域です。

女性部会（通称：女子会）で毎月定期的に会合を開き様々な計画を立案して活動をリードしています。

その一つが高齢者の見守りです。一人一人が自分の緊急連絡先・病歴・使用中の薬剤などを「救急安心カード」に記入して、いざと言う時に救急隊員が分かるように冷蔵庫などよく分かる所に保管してもらう活動を展開しています。

現在122世帯/186人がカードに記入しており、毎年女性会員がそれらの方々を訪問して健康の有無など相談に乗っています。

地域の安心は会話から生まれて
いるんですね。



■ふれあいサロン万願荘で「話す」

平成29年6月からは、毎週金曜日に万願荘地区センターで「ふれあいサロン万願荘」を開催し、高齢者の集いの場所を提供しています。

サロンの主な活動は、日野市社会福祉協議会にご支援をいただいた「ひの健康貯筋体操」と「茶話会」を行います。月末の金曜日には、その月の誕生した皆さんを祝う誕生日会も開催しています。

毎回サロンには30名程の皆さんが参加されており、今まで面識の無かった方々が意気投合して食事会を開くグループも出来るなど友好活動にも貢献しています。

そのほか「水彩画」「俳句」などの会もでき毎月活動をしています。



楽しい会話から、また新しい活動が生まれ、
地域にとって欠かせない居場所になってい
ます。



サロン活動を通して様々な世代の皆様と親しくお話しが出来るようになったことが最大の喜びです。自分があまり知らなかった「水彩画」「俳句」などのサークル活動が間近に見られる事も楽しいです。サロンに参加される皆様から日々の行動が活発になり行動範囲が広がったなどの声も聞かれ大変に嬉しく思っています。

地域の守りは人の繋がりから！

～平成29年度自治会活動インセンティブ補助事業より～

二中地区

東京直下型の大震災はいつ起こってもおかしくないと言われています。“もしも”ことが起こった時に頼りになるのは、個人・ご近所同士の自助・共助ではないでしょうか。

地域の防災力を上げる活動を行うことで、併せて地域の「顔の見える関係」づくりを行っている自治会をご紹介します。

日野台自治会

ヒト

第一豊田荘自治会

「地域の防災力の向上に向けて」事業

古瀬会長

「“自分たちの命と財産・地域を自分たちで守る”活動をしています。」

が

「防災フェスタ～もしもの

備えは大丈夫ですか？～」事業

山本会長

「高齢者、子どもなどが参加して、多世代の連携が図られています。」

自治会地域は、小宅地の家屋が密集しているため、火災発生時の延焼危険度が日野市で最も高いと指摘されています。

スタンドパイプ、発電機、チェーンソーなど防災備品の充実を図り、広い日野台公園と日野台地区センターという地域の拠点を利用して、訓練活動などに活用しています。

モノ

を活かして

・豊田4丁目は、旧日野自動車の社宅として生まれたため、道幅が狭く、家屋が密集しています。

・たぬき公園を「一時集合場所」として、火災発生時の避難路も考えて、実際に皆で走ってみました。

火災延焼危険度の高いことを防災訓練や種々の機会を通して意識の徹底を図るとともに、減災のためのスタンドパイプや消火器操作の初期消火訓練を実施しています。また、夏まつり、どんと焼き、あいさつ運動などの諸行事を通じて、災害時の自助・共助に繋がる平素からの「顔の見える関係づくり」に努めています。

コト

を起こす！

防災フェスタでは、起震車・消火器体験、防災講話などが行われました。この事業で、自助・共助の意識が育ち、地域力の向上が図られたと思います。



二中地区アクションプラン実行委員会より

二中アクションプラン「プランニング!!!」は、ブラブラ歩きながら地域の魅力を再発見できる“まち歩き”です。

「プランニング!!!」参加者の間でも特に人気だったのが第一豊田荘自治会のアイドル「小便小僧」です。このたびテレビで放映されました！



今大注目！？の「小便小僧」

七生中地区

防災訓練と地域の交流を併せて行っている自治会を紹介します。南平八丁目自治会では年二回の一斉清掃時に「黄色いハンカチ運動」を行い、防災への意識付けと交流を併せて行っています。

場所：南平8丁目 全域

黄色いハンカチを
玄関や門に掲げることで
気楽に・手軽に参加でき
減災効果大きい
「黄色いハンカチ運動」で
防災活動だけでなく
住民間で交流しています



前列左から 岩崎新会長・本間会長 (H29年度) ▲
大島副会長 (H29年度)・田中新副会長 ▲
後列左から 針ヶ谷さん・吉野さん・鈴木さん ▲



南平八丁目自治会 平成29年度会長 本間 良輔さん

南平八丁目自治会は、南側に丘陵公園があり、四季の移り変わりが身近に感じられる自然豊かな場所にあります。

災害時にまず必要なことは「安否確認」です。

そして、災害から実際に救援が来るまでの間、自分たちの身は自分たちで守らなければなりません。

私たちは、平成26年秋から「黄色いハンカチ運動」の発祥も含めさまざまな情報を集めて実施しています。

「気楽に・手軽に」参加でき、効果が大きいこの「黄色いハンカチ運動」が自治会員だけでなく、地域住民全体で、そして日野市を挙げて実施できるようになれば良いと考えています。



▲黄色いハンカチ



南平八丁目自治会 衛生部長 吉野 ヨシ子さん

南平八丁目自治会の衛生部は、一斉清掃の準備・片付けなどの活動をしています。

一斉清掃については、早い時間に始めた方が人が集まりやすいという意見もありましたので、衛生部も朝早くから準備を行っています。南平八丁目自治会では午前8時から始める組と午前9時から始める組があります。

一斉清掃にはたくさんの方々に参加していただきますのでこの「黄色いハンカチ運動」は効果があると思います。



▲家々に掲げられた黄色いハンカチ

実際に南平八丁目自治会の方々が一斉清掃をされている時に行かせていただきました。黄色いハンカチをお家の前に掲げ、楽しそうにお話ししながら掃除をしている姿がこちらで目に付きました。今回の取材時に田中地区センターでお話しを伺いましたが、地区センターを大事に使ってくださっていました。集まって話ができる「場」を大事にする、これが地域のつながりに必要なことなのかもしれないと、南平八丁目自治会の皆様からヒントをいただきました。

百草団地ふれあいサロン

■所在地

百草999番地 百草団地商店街内

■開設日

月～金 11時から16時

第2・4土曜は12時半から16時

祝祭日は休み

■参加費

入室料として100円

土曜日は50円



「地域にあるものをプラスの視点で見つめ、サロンに取り入れる」



リラックスできるように、椅子の配置などにも気を付けています。

参加者の方々からは、「ここに来るのが楽しみ」、「雰囲気が良い」「リハビリの帰りに寄っている」「ここで知り合いになった人がたくさんいる」などの感想がありました。男性は囲碁や将棋に熱中し、女性は世間話に花を咲かせるなど、軽い気持ちで来所し、思い思いに楽しんでいるようでした。

平成30年4月でちょうど10周年を迎える百草団地ふれあいサロン。取材時も多くのお客様がいらっしゃいました。

このサロンの特徴は、近隣の七生福祉園の子どもたちの喫茶の実習の場にもなっていること。子どもたちが焼いたケーキを販売したり、お茶出しを担当したり。地域の方々と話をしながら多くのことを学んでいます。

また、サロンの立地を生かし、団地内の商店街から出前を届けてもらい食べることもできます。もちろん、持ち込みも自由!!

このサロンは、「ゆったり、のんびり」会話を楽しむ地域の居場所でした。



スタッフのみなさん

編集後記：10年続いている百草団地ふれあいサロン。その秘訣は与えられた条件を最大限に生かしていることでした。商店街の中にあるので、人が近くにいる。出前も取れる。空き店舗を使っているのでスペースが広い。近隣の七生福祉園と連携している。

地域にあるものをプラスの視点で見つめ、サロンに取り入れているからこそ、親近感がわき、多くの人が集まって、会話を楽しむことができるのでしょう。その会話には地域を良くしていく「新しい何か」が散りばめられているのかもしれない。

今回は、旭が丘三丁目にあるマンション自治会「グランシティ豊田自治会」をご紹介します。
自治会費を集めない、リサイクル補助金を主な活動資金としており、「挨拶から始まる良好な関係づくり、思いやりのあるふれあい、明るく魅力ある住環境を築くこと」を目標に発足、4年目の自治会です。



こんにちは、自治会長の村上です。
当自治会は、ママ友の茶話会がルーツです。
「同じマンションに住んでいる人と交流の場がないよね！」
「大きな災害が発生したらどこに行けばいいの？」
「お隣はどんな人が住んでいるのかしら？」
「ピアノ音でトラブルを聞いたのだけれど！」
「・・・何か方法ないかしら？ねえ～」
私も話の輪に呼ばれ、二年の準備期間をへてグランシティ豊田自治会が誕生いたしました。



■自治会活動を始めてみて

同じマンションに住んでいる人とのコミュニケーションを図る場として、健康セミナー、防火防災訓練・夏祭り・ハロウィン・餅つき大会等、また、近隣自治会さまと交流、顔の見える関係構築、挨拶を交せる人が増えました。相手を知ることの大切さを実感しています。

話をすることは、「口を動かす」表情が伝わります。「不安が和らぐ」知ることで気持ちが楽になります。「情報を交換する」抱える問題を共有できます。「楽しみが増える」相手を知り、自分を知ってもらうことで仲間、同じ趣味、余暇の活用が有意義になります。

考えを整理して、正しいことを言わなくても、人と話することってストレスが緩和されるし、思わぬ情報を知り得ることも、気軽におしゃべり、雑談をすることって活き生きとした人生を送るうえでとても大切に自然な欲求であると思います。

これからも、多くの笑顔がみられるマンションとなることを願っています。



■お隣の自治会との交流

お隣のGSハイム豊田自治会さんと旭が丘中央公園にてお花見をしました。
晴天・桜は満開・笑顔も満開で、楽しいひと時を過ごしました。
写真は、左から、当自治会の小野さんとGSハイム豊田自治会の萩原さん。



▲マンションのエントランスは、様々な使い方で交流の場へと変わり、話し声で溢れています。

小野です。村上会長と4年間の自治会活動を通じて、世代の異なる居住者がどのようにコミュニケーションを図っていくか、誰しもが楽しめる行事はないかと思案を重ね試行錯誤、毎月の定例役員会を通じて意見交換を行いました。
先輩自治会のGSハイムさんからの助言は大変参考となり、背中を押していただきました。
イベントを通じて顔が見える関係が増え、風通しも良くなり、有事の際には物事がスムーズに解決できるのではないかと感じています。
これからも話しのできる場から少しずつ輪を広げて行きたいと思っています。

村上会長曰く、「あらためて人との会話に奥の深さを感じています」とのこと。ありがとうございました！

子育てカフェモグモグ

場所：日野市落川 458 月曜日～金曜日・第3土曜日 10:00～16:00



毎日通いたくなるお母さんたちの居場所

子育てカフェモグモグは乳幼児親子対象の“ランチを提供している”子育てひろばです。子育て中の方々とその子どもたちが気軽に集えるカフェを目指して運営されています。



子育て中に、「ゆっくりご飯が食べたい」「誰かと話したい」そのような思いになったことはありませんか？

モグモグは、保護者の方の目の届くところに子どもが遊べるスペースがあるので安心！

小さな赤ちゃんもスタッフが抱っこのお手伝いをさせていただきますので、お母さんはゆっくりお食事ができます。子育ての悩みは**誰かに話せる**ととっても気持ちが楽なのです。

楽しいことがいっぱい。 でもモグモグの本当の目的は…

「いい親になりたい」と頑張りすぎていませんか？ちょっと休みたいと思うことは悪いことではありません。お母さんだって出来ないことはある。お父さんだって助けてもらいたい。私たちは親になったあなたを応援しています。子育ての不安や悩みは一緒に考えていきましょう。あなたが主役です。モグモグは地域の皆さんのための居場所なのです。

モグモグスタッフ一同



モグモグのオリジナルキャラクター
モグモグマちゃん

モグモグ100人アンケートより（2017年2月調査）

- ・子育ての悩みや不安を話せる人がほしかった 37人
- ・家族以外の人と交流することがあまりなかった 41人
- ・大人と日常的な会話をしたかった 37人



(運営受託) 公益財団法人社会教育協会 ひの社会教育センター



地域から孤立しがちな近年の子育て事情において、子育てカフェモグモグは、親たちが子どもと一緒に気軽に集まって、悩みごとや好きなことを話せる、地域の居場所になっています。大変なことも多い育児ですが、居心地のいい居場所と、話ができる仲間の存在が、力強い日々の支えになるのだと思います。

大坂上都営自治会

大坂上都営自治会は約380世帯が加入している自治会です。自治会活動を負担感のある暗いイメージから明るく前向きにしていこうと楽しみながらできるアイデアを出し合って活動を行っています。日本人は元来、隣近所と助け合い暮らしてきたはずです。

その素晴らしい日本の文化が残念なことに忘れられているように感じます。

今では地域清掃や防災訓練はもちろん近隣4自治会合同の盆踊りやもちつき、昔遊び、ふれあいゲーム大会&カフェなどさまざまな活動に取り組んでいます。

大坂上都営 野菜マルシェ

住人がボランティア活動を行っていたことから始まった野菜即売会です。「買い物をして帰るのも大変だったが、近くで購入することができ便利になった」や「新鮮な野菜が安く買える」という声も聞こえてきます。

ぜひこの野菜マルシェという場を活用し、近隣住民と顔の見える関係を築いていけたらと思っています。ぜひお越しください。



△野菜を活用したコミュニティ活性化に協力してくれている佐瀬さん



野菜マルシェ インフォメーション

場 所：都営大坂上アパート周辺

開催日：月末の土曜日

時 間：10 時頃から 15 時頃まで

朝 4 時に会津若松市を出発し
新鮮野菜を佐瀬さんが運んで来ています。



都営大坂上アパートは市立大坂上中学校に隣接しています。大坂上三丁目の信号や京王バスの都営大坂上アパート停留所を目印にお越しください。

平山ふれあいサロン ひだまり

所在地・平山 2-7-1

開設日・月・火・水・金 11時から15時

(夏季は10時30分から15時30分)

参加費・入室料 100円



ここは平山の山の上。地の利を感じる。

平山2丁目にある「平山ふれあいサロン ひだまり」は、オーナーの織田さんが、「高齢化しているこの地域に、みんなが笑って過ごせる場所を作りたい」と平成28年4月に、住んでいる自宅をサロンとして始めました。

毎月さまざまな行事を行っていますが、特に「何でも塾」(何でも役に立つことを学ぶ勉強会)や「音楽療法」が人気で、音楽療法は、音楽に合わせて指を動かしたり、体でリズムを取ったりすることが認知症の予防にもなるそうです。

多いときで20人以上が参加するサロンですが、まだまだ課題があるそうです。それは、会社人間だったような人に参加してもらうこと。退職すると地域と繋がりがなくなる人は家にこもりがち。そんな人にも楽しんでもらえるよう、知的好奇心をくすぐるような行事も用意しています。



参加者より

- ・世間話をしながら、教わって作るのが楽しい。
- ・自分の家のように、気楽に参加できる。
- ・行事によって興味のあるものに参加している。

スタッフより

- ・スタッフもお客もお互い感謝の気持ちを持っている。
- ・ここで友達になった人と旅行に行った。友達の輪が広がった。
- ・近くを通った人がふらっと立ち寄れるみんなの居場所。



スタッフのみなさん

平山の山の上にあるサロンですが、オーナーの織田さんは、薬科大学、平山台健康・市民支援センターにも近く、また、講師になってくれるような方々が近くにたくさん住んでいる。平山には宝物がいっぱいで、「地の利」を感じると話してくれました。もしかすると、どこの地域も同じなのではないでしょうか。

集まって話してみると、人生を豊かにするような宝物を近くで見つけることができるのではないのでしょうか。

平成30年度第1回地域懇談会のお知らせ

地域懇談会は“人と人がつながる場”

地域懇談会は、各中学校区で活動するさまざまな方が顔を合わせ、話し合う場です。地域にはそれぞれ特徴や課題があります。地域懇談会でそれぞれの地域の特徴や課題を話し合う中で、地域の課題を地域が解決する「アクションプラン」を考え実行してきました。地域懇談会・アクションプランを市民の皆さんとやっていくなかで中学校区という範囲での広いつながりができてきました。つながるためのきっかけづくりとして、今後も続けていきます。

人と人をつなぐ“場所”と“場”づくり

コミュニティセンターや公園など、“場所”という物理的空間があると、地域は“人と人をつなぐ活動”がしやすいことがわかりました。

平成29年度第2回地域懇談会では「地域の居場所って何だろう・居場所の発想を広げよう」とテーマを決め、自由な発想で「夢の居場所」を考えてみました。いろいろな「夢の居場所」がたくさん挙がりました。

平成30年度第1回地域懇談会ではそれぞれが自分にとっての“地域の居場所”と考えている場所をMAP化し、共有したいと思います。

今まで参加いただいた方も、初めての方も、居場所づくりに興味ある方も、居場所づくりに取り組んでいる方も、気軽にふらっと参加してみてください。一緒に「**自分らしく誇りをもって生きられる住みがいのあるまち**」を実現しませんか。

次回開催日程

※午前＝10:00～12:15、午後＝15:00～17:15
※お車でのご来場はご遠慮ください。

日程	時間	地区名	場所	住所
6/16 (土)	午前	三中	日野第三中学校 2階 食堂	程久保650
	午後	三沢中	三沢中学校 1階 食堂	三沢1-17-4
6/23 (土)	午前	四中	日野第四中学校 2階 食堂	旭が丘2-42
	午後	大坂上中	新町交流センター 1階 ホール	新町1-13都営日野新町1丁目アパート11号棟
7/14 (土)	午前	平山中	平山中学校 1階 食堂	平山4-21-3
	午後	一中	日野第一中学校 1階 食堂	日野本町7-7-7
7/21 (土)	午前	二中	カワセミハウス	東豊田3-26-1
	午後	七生中	七生中学校 2階 食堂	南平6-7-1

- ①申込み方法：下記 地域協働課まで電話・FAX・メールでお願いします。
 - ②申込み期限：各開催日の5日前まで
 - ③手話通訳：ご希望がある方は5月28日(月)までに地域協働課までご連絡ください。
- ※申込み多数の場合は、会場の都合により申込みを締め切らせていただく場合があります。

「地域かわら版」をさらに魅力あるものにするため、ご意見・ご感想をお待ちしております。

■地域かわら版 第23号 平成30年4月発行
■発行・編集：日野市企画部地域協働課

■〒191-0011 日野市日野本町1-6-2
TEL：581-4112 / FAX：581-4221
Mail：ckyodo@city.hino.lg.jp